

# 予算特別委員会

## 審査の内容をお伝えします



委員長  
山本 清秋

議案第3号  
令和2年度つがる市一般会計  
補正予算(第11号)

議案第1号  
専決処分した事項の報告及び承認  
を求めるの件  
令和2年度つがる市一般会計  
補正予算(第9号)  
※一万円未満四捨五入

**補正額**  
ひとり親世帯臨時特別給付金  
給付事業費補助金  
1891万円

成田 克子 委員

**問** この給付金の対象世帯数はどのくらいか。もれなく支給されたか。

**【福祉課長】**  
**答** 対象となるひとり親世帯数は326世帯、子どもは461人おり、すべて給付済みである。

**補正額**  
路線バス維持費補助金  
(市単独) 94万円  
公共交通確保維持改善事業費  
補助金  
(国、県、市協調) 400万円

秋田谷 建幸 委員

**問** 年々、予算額が減少している理由は。

**【総務課長】**  
**答** 路線バス維持費補助金について、平成30年当初予算編成時に4路線あった対象路線は年度途中から1路線に、平成31年度からは2路線となった。また、公共交通確保維持改善事業費補助金については、6路線あった対象路線が廃止等により4路線に減少している。

**補正額**  
スマート農業基地局設置工事  
△324万円

佐々木 直光 委員

**問** 基地局の整備予定は。

**【農林水産課長】**  
**答** 令和2年度は1基、令和3年度は2基、令和4年度では1基の計画で進めている。

**問** 基地局整備に対応するスマート農業機械導入への補助は考えているか。

**【農林水産課長】**  
**答** スマート農業に特化した国の補助事業の活用も含め、全基地局の完成までには対応したいと考えている。

**補正額**  
ぎんなん荘施設指定管理料  
1181万円

佐藤 孝志 委員

**問** この施設の定員と入所している人数は。

**【福祉課長】**  
**答** 定員は50人で現在31人が入所している。

**問** 定員割れが続いている状況にあるなら、この施設を特別養護老人ホームにしてはどうか。

**【福祉課長】**  
**答** ぎんなん荘は養護老人ホームであり、介護を必要とせず、生活環境および経済的理由等により、

居宅において日常生活が困難な人を対象にした施設である。市で唯一の養護施設であり、介護を必要とする特別養護老人ホームとは目的が違いため変更は難しいと考える。

議案第8号  
令和3年度つがる市一般会計  
予算案

**ふるさと納税寄附金**  
4800万円

齊藤 渡 委員

**問** ふるさと納税額を前年度より多く見込んでいる理由は。

**【総務課長】**  
**答** インターネットによる、ふるさと納税サイト1カ所運営していたが、令和3年度からは2カ所に増やし、掲載内容をさらに充実させていくため、寄附金の増額を見込んでいる。



返礼品の中でも人気の高い米

元気な地域づくり支援事業費  
補助金  
600万円

長谷川 榮子 委員

【総務課長】

この事業の内容は。

【総務課長】 昨年度まで未来を変える元気事業という事業名だったもので、自発的かつ主体的に地域特性を生かした地域づくりなどに取り組み、市町村に対して県が支援する。補助率は2分の1で図書館5周年記念事業や東京事務所、果房メロンとロマンを活用したPR活動費、世界遺産登録記念イベント事業など、5事業に充当している。

農山漁村活性化事業寄附金

1億500万円

農山漁村活性化事業基金

繰入金

3080万円

齊藤 渡 委員

【農林水産課長】

これは風力発電事業にかかるとは。

【農林水産課長】 農林水産業へ寄与する地域振興事業に充てるため、再生可能エネルギー発電事業者からの寄附金1億500万円を基金に積立て、3080万円を取り崩し、一般会計にするため計上している。

東京事務所費  
物販・カフェ運営委託料  
2275万円

成田 博 委員

【総務課長】

3年目を迎えた東京事務所

のメロンカフェはマスコミにも多く取り上げられたようだが、市にとつてどのような効果があったと考えているか。

【総務課長】

【総務課長】 当施設の開設目的として、本市の知名度向上のための情報発信がある。テレビ、新聞等のメディアへの露出を広告費に換算してPR効果を測る広告換算値は現在において6億5千万円ほどとなっており、高いPR効果があったと考えている。

つがる市シルバー人材センター  
補助金

700万円

佐々木 敬藏 委員

【農林水産課長】

登録している会員は何人いるか。また、農作業の依頼を受注できなかった要因は何か。

【福祉課長】

【福祉課長】 シルバー人材センターには211人（3月1日現在）の会員があり、毎年20〜30人の会員が高齢を理由に退会し、同程度の新規会員が加入している。近年、農作

業の依頼が増加し、同時期に同じ業務が集中しているほか、農作業の未経験者是对応できず、断っている業務もある。

農地耕作条件改善事業補助金

2650万円

佐々木 直光 委員

【農林水産課長】

この事業は暗渠排水整備事業にかかるとは補助金と認識しているが、つがる市全域を見込んでいるのか。

【農林水産課長】

【農林水産課長】 暗渠排水整備事業において市は農家負担額の一部、10アールあたり7千円を補助し、市全域を整備したいと考えている。

農家負担を軽減させるためにも国の補助額を引き上げられないか。

【農林水産課長】

効果的に暗渠排水整備を進めていくためにも国に対し要望していく。



防災備蓄倉庫建設費

3億3245万円

木村 良博 委員

【総務課長】

防災備蓄倉庫の詳細な説明を。

【総務課長】 避難所の拠点として現在建設中の総合体育館の隣接地に防災備蓄倉庫とヘリポートを建設する。

備蓄倉庫には約5千人が3日間使用できる水、ご飯やパンなどの食料のほか、毛布、発電機、照明器具、マンホールトイレ、仕切り付の段ボールベッド、衛生用品等を備蓄する計画となっている。

今年のような豪雪では交通機関のマヒなどが懸念されるため、備蓄品は各地区に分散するべきではないか。

【総務課長】

【総務課長】 保管場所の分散については今後検討していく。

公営住宅水洗化工事

3000万円

佐藤 孝志 委員

【建設部長】

この水洗化工事の計画内容は。

【建設部長】

【建設部長】 月見野丘団地のトイレを水洗化する。40戸のうち20戸の水洗化工事が完了しており、令和3年度と令和4年度にそれぞれ10戸ずつ整備する。